くにみ

【第18号】
昭和34年3月15日発行
非売品
発行所　国見町公民館
発行人　佐藤善次郎
編集人　鈴木美一
印刷所　宇佐美印刷所

5ヶ年間に7.716万円

国見町新町建設計画答申案可決さる

かねて国見町新町建設審議会並に同推進事務局において検討審議を重ねていたが、去る二月廿六日午後一時より審議会を開き、総事業費七七〇二二千円に上る五ヶ年の実施計画作成の経過並に趣旨の説明があり、審議の結果一応の結論を見たので、大沼会長はこの際、町長宛の答申案を作成したいとはかり、起草委員五名をあげ、草案を作成、再会、議会にかつたところ、新町建設計画の基本計画並に実施計画は――わが国見町の進展と町民の所得の増強と文化福祉の向上のため適切妥当なもの――として満場一致可決され、緊張の場面であつた。かくて、半歳にわたる努力審議の幕はおろされ、廿八日開会の議会に諮り議決され県に申達することになつた。

年次別実施計画総括表　(単位千円)

年度別	事業量	内訳 国補助	県補助	一般財源	その他
34	4.700	3.080		1.620	
35	11 884	1.800		8.089	195
36	16.917	3.580	3.388	9.229	720
37	24.570	5.856		9.754	230
38	19.091	4.956	1.000	9.330	655
合計	77.162	19.272	4.388	38.022	1.800

人生学校 修業のうた

「暑い寒いも」
春日　佑幸

暑い寒いも彼岸までこのことわざを春秋の季節のことにすぎないときくのはうかつな話だよ

一体彼岸ということはむこうの岸ということだお経のことばのハラミツも彼岸に到るという意味だこちらは悩みのたえまなき暑い寒いの世の中だ

若い世代はむろんだが年はとつても我をはらず心ゆたかにくらすのは正しいすがたであるまいかにくいかあいや負け勝ちや損だ得だのいざこざやもつれの多い世の中だ

そうかといつてこのことを死んでなやみのないくにに行けとすすめることわざときくのもあわてたきき方だ暑い寒いの世の中をどう生きるかということはいつも修行の考えでまじめにすごすことなのだつまり寒暑の中に生き或は苦悩をきりぬけて彼岸の平和をこの岸に見いだすことがよいようだ

選挙特報

◎町会議員の選挙期日について

任期満了に伴う当町議会議員の選挙期日は予定日を変更して、本月二十九日(日曜日)に決定し、その告示を同月二十二日に行います。

◎補充選挙人名簿登録申請について

当町議会議員選挙執行に伴いまして補充選挙人名簿登録申請は次の通り行います。

1、申請期間　三月十七日より三月十九日まで三日間、毎日午前八時三十分から午後五時まで

2、申請の場所　国見町役場

3、登録申請該当者

①住所要件　昭和三十三年六月十六日から同年十二月十六日までの間に当町転入者で満二十才以上の人

②年令要件　昭和十三年十二月二十一日生から昭和十四年三月十六日生までの人で引続き当町在住者

③基本選挙人名簿(昭和三十三年十五日現在調製)に登載洩れの人

4、携行品　印鑑

5、該当者　(代理人でもよい)はこの申請期間中に届出をしなければ名簿に登載されないので御留意下さい

◎不在者投票について

当町議会議員の選挙による不在者投票は次により行います。

一、期間　三月二十二日から三月二十八日まで毎日午前八時三十分から午後五時迄

二、場所　国見町役場

三、該当者　投票当日職務又は業務或はやむを得ない用務のため他市町村に旅行滞在する人

四、出張者等の不在者投票は出先地から直接郵便で当町選挙管理委員会あてに投票用紙及び封筒を請求して下さい。

(国見町選挙管理委員会)

議会だより

二月臨時町議会

(「国見町建設計画の調整の件」など審議)

二月二十八日国見町議会臨時会が開かれ、会期一日、議案次の通り

日程第一　専決処分について承認を求めるの件

昭和三十三年度簡易水道事業費起債三百六十万円の借入許可申請のため臨時急施を要したため専決処分したことに対する承認を求めるもので原案通り可決された。

日程第二　国見町職員定数条例改正の件

職員定数(九〇人)としてあつたものを六七人とするための変更で原案通り可決された。

日程第三　国見町役場出張所設置条例廃止の件

合併後の新町一体性確保と経費節減の見地から国見町役場大枝出張所を本年三月三十一日限りで廃止するための廃止条例原案通り可決された。

日程第四　職員の給与勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正の件

職員に対する期末手当〇、一月分増額支給のための改正で原案通り可決された。

日程第五　国見町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正の件

日程第六　国見町簡易水道使用料増徴条例制定の件

簡易水道布設費の一部に充当するため使用者に対し給水開始の月より二ヶ年間、給水使用料一ヶ月につき基本料金の二割を寄附して頂くことになつていたものを条例化したもので原案通り可決された。

日程第七　大字西大枝土地無償譲渡の件

日程第八　町有土地譲渡の件

四号国道新設に伴い、町役場敷地及び県北中学校教員住宅敷地の一部がつぶれるので建設者に譲渡するためのもので原案通り可決された。

日程第九　町有土地譲渡の件

旧藤田町有財産の土地の未処理分を譲渡するためのもので原案通り可決された。

日程第十　国見町建設計画の調整の件

町村合併五ヶ年計画事業を調整するための新町建設計画五ヶ年事業(内容別記の通り)施行のためのもので原案通り可決された。

日程第十一　寄附採納願報告

3～4～5月

いよいよ入つた火災期

今年こそはぜつたい出すまい

厳冬もようやく遠ざかり、間もなく花便りをきく春がやつて来た。しかし、この火災期を迎えては、花見どころの沙汰ではない。ものすごい季節風と異常乾燥が重なる三―四―五月が、いかに火災を発生しやすいかは、統計と歴史の示すところです。昨年の平野大火をはじめ、常葉町、土渦、伏黒と枚挙にいとまがないぐらいです。本町消防団も全団員を挙げてこの時期の予防消防に全力をつくす所存でおりますが、何といつても火元をあつかい、留守をあずかる婦人の方の喬起を特にお願いする次第です。婦人消防協力会は町内全婦人の団体です。一部の幹部役員の一人芝居にならぬようわが家の火防は主婦の手で引受けましよう。

出して消すより
出さぬがてから
(国見町消防団)

春近し　(厚樫山麓所見)

交通事故から幼児を守ろう

県内における昨年中の交通事故は次の通りで毎日県内のどこかで一人か二人の子供が事故にあい、死傷したことになります。殊に少さい子供ほど危険率が高くなつています。

各家庭ではよく学校と協力し、通学途上の注意と共に戸外で遊ぶ子供たちに十分な関心をもたれるようお願いいたします。

	死者	けが
幼児(六才未満)	一三	二二四
小学生	一八	二一〇
中学生	一一	五三
計	三二	四八七

家を建てる人々へ

建築確認申請を必ず出して消すより出さぬがてから

建築確認申請をさされたので、新築、改増築をされる方々は、自分の土地、他人の土地を問わず「建築確認申請」を出して、建築基準による規正をうけ、土木事務所の取締をうけることになりました。大工さんや建築施工業者にもこのことは説明してありますので、町民の皆さんにも御諒承の上御協力して下さるようお願いします。後で何かとめんどうがおきないよう必ず手続をして下さい。用紙は役場にあります。

(総務課土木係)

農事メモ

○麦の手入れ

今月の末頃が有効分けつ限定期(実際に穂を出す茎の分ケツ終期)です。従つて早く分けつさせることが穂を大きくし増収させるコツです。

追肥や土入、麦踏、中耕等の管理作業を急ぎましよう。

中耕(さくり切り)は土を軟にし肥料の分解吸収をよくして根張りをよくするので一日も早く実施しましよう。

○菜種の追肥

花芽の分化は絶えず行われ根の伸長も可なり進んでいます。追肥は早ければ早い方がよく、遅れない様にして下さい。又開花の始まる頃の追肥は着莢数を増し種子の充実に大きな働をしています。そこでこの時期に反当硫安二〇〇位追肥することがよい様です。たさこの時期に土が余り乾燥しているときは水に溶かして施す様にする事が大切です。

○水稲の栽培計画

今年の夏の天候予報は現在のところ早冷の心配があるので

1、早生中生の品種の選定

2、施肥の合理化

3、田植を出来るだけ早く行う

等に力を入れて今年の稲作に万金を期す様にしましよう。

殊に山間地や一毛作田の場合は保温折衷苗代や畑ビニール苗代によつて早植を行う様にしましよう。

○放任柿の整枝剪定

名産の蜂尾柿は今から手入をして行きましよう。整枝剪定、施肥、薬剤撒布と三つの面を考えなければなりません。

就職期の少年補導について

桑折署防犯主任　藤本部長

学年末を迎えて、進学に、就職に、少年たちは希望にもえてそれぞれ進まれることでしようが、今年も就職問題はかなり深刻のようで、父兄の一部には非常にあせつている人もあるようです。

こうした求職者の「あせり」につけこんで、りつぱな広告やもぐり周旋人が、少年たちの福祉を害するような、たとえば飲み屋の女給とか、いかがわしい商売に世話をして、高い手数料をとるというような悪徳人が見られます。

また職がはつきりきまらないまま家出をする少年たちも多くなつています。希望にもえて学窓を巣立つ少年たちを、どこまでも、すくすくと育ててやるためには、父兄の皆さんが、深い理解と愛情をもつて、適切な指導をしてやることが大切だと思います。

就職さえすればよいというような考えでなく、よく就職先をたしかめたり、世話する人がどんな人であるかをよく見た上で、学校の先生方ともよく相談してから決める様にすべきです。

最初ふみあやまると、少年たちの胸に暗い影を残しせつかくの希望を失つて悪の道へ転落することにもなりますから、就職期の少年たちの補導について、父兄の方はもちろんのこと、少年たちを迎える社会一般の方方の深い理解と協力を切に願つてやみません。

3月1日現在人口

	男	女	計	世帯数
藤田	2.285	2.563	4.848	949
小坂	1.177	1.284	2.461	449
森江野	1.381	1.458	2.839	466
大木戸	1.119	1.178	2.297	330
大枝	584	612	1.196	192
計	6.546	7.095	13.641	2.436

◇納税をはたしてうまし今日の○　◇出してならぬは火事と○そ

(○に漢字又は仮名を入れて下さい)

◇われらの新生活……行楽の春……車内や観光地をきれいにしましょう

学校めぐり…(完)

—藤田小学校の巻—

「もう…三十年になるかな？」

校舎もずい分古くなったし講堂もあれではなー。毎日のようにながめたり、足を運んでいる学校だが、改めて訪問記を書こうとなると、こんな思いが明滅してくる。

「暗い」、「古い」という印象はぬぐいきれないものがある。そういえば学校では最近照度計を購入して教室の明度を調査しているそうだ。子どもたちの視力を護るためにも、どうにかしなければと考えているわけだ。そして、それは町民全部の心の中にあることでもあった。

しかし、こんなことを考えながら正門の前まで来た私ははっと心を動かされた。

校門から直角に国道に出る通路は見透しもきかないものだったが、それがなぜに削りとられ、国道への見透しができるようになってる上に、子どもたちは、この花だんの一輪の花になごやかさおちつきをとりもどし、国道に足を運ぶにちがいない。子どもたちの命を護り育てようとする先生方の真剣な気持が、こんな小さなことにも現れているように思われた。

校門をはいるまでもなく、右手に真新らしい運動具が目にはいってくる。ジャングル・ぶらんこ・すべり台。近ずくと新鮮なペンキの香りだ。帰りがけの子どもたちが、ジャングルを自在にかけまって、どっと明かるい笑声を早春の空にとどかせている。

なるほど、私は再び、ひとりうなずかせられた。学校の設備、環境の美化など、あらゆる当局、PTAなどがいずれも力こぶを入れ、充実をはかっていることである。だが往々にして、それが大人のための、あるいは大人の目でみたものになってしまって、子どもたちのほんとうの要求やねがいとぐいちがっていることも多かったのではなかろうか。ところが、ここでは子どもたちの喜びや願いが、まっすぐに受けとめられ、子どもたちのための設備、施設となって生きているではないか。私は改めて、PTAのすべての人々の、心からなるおくりものであるこのジャングルやブランコに目をそそぎ、しばらく、その手ざわりを楽しんだ。

職員室にはいってみると、留守居の女先生ひとりだけ。先生方は全部理科室だというので、長い廊下を急いで行くと、木を打つ音や色々な音がまじりあってきこえてくる。挨拶ぬきにはいっていくと、これはまた変った景色だ。女の先生がそでをまくって青竹にエナメル線をまきつけているかと思うと、にわか大工の五六人が板をひいたり、かんなをかけたり、おまけに変なラッパの上の金属線に目をつけたまま動かない。あいさつも忘れて聞いてみると、磁力を与えるコイルや、金属の熱ぼう張をはつきりするための道具等を自作しているのだという。やってみるとおもしろい。おもしろいので勉強になるという。それにこれをつかうときの子どもたちの笑顔が目に浮んでくるという。

おかげで、私はわざわざ訪問しながら一ぱいの茶もごちそうになれなかった。しかし私の心は、あふれるまでの喜びにみたされていた。

「古い」、「暗い」という印象。しかし、いまは「動いている」「生きている」という印象が、くらべにならない鮮明さで、私の胸にやきつけられている。

(S生)

#

共通のなやみと話題で活潑な話しあいを展開

…(婦人学級研究集会の記)…

三月五日、各方部から十五名づつの代表者(といってもなるべく新人)が集まって話合い学習の研修会が開かれた。

新装成った青年研修所に、今日のために特に急いで取付けられた暗幕を使っての映画「陽の当る子供たち」から会は始められた。同じ年ごろの子供をもつ母親という立場が共通しているためきわめて感銘が深い。開会式も早々に話しあいに入る。「私たちの暮しをよりよくするために」という主題で、七つの分科会をもつ。

司会、記録は皆若い新人だが、助言者として先輩の婦人会幹部二名づついていただいたので、親船に乗った気持で安心して話しあえた。

午后は古宮先生の指導で、合唱や創作遊戯コンクール等目新しいレクリエーションで時のたつのも忘れ、全体会で分科会の発表をされたが、一時間余にわたる話しあいの結果を五分間にまとめて要領よく発表された頭の良さにはほんとうに感心させられた。夫婦げんかの原因はどちらかのよろめきから、時々学校に行って子供と共に同じ方向に進む、嬢にも月給制にしたら、男性の立小便はごえんりよね いたい、子供中心の明るい家族会議、命を大切にするための労働と栄養、義理人情に左右されない自由な選挙、時勢におくれない婦人の教養など発表者の一言一言に食い入るように耳をかたむける婦人たち、今更ながらわれわれにも、こんなにたくさんの問題があったのか、とおどろくばかり、定刻三時解散したが、あとの評価反省表にもある通り、極めて有意気な会合で、今後もぜひたびたび開いてほしいとの希望であった。それにしてもこの研修所の環境といい、設備といい、何と便利な、気分のよい所だろう。名前は青年研修所であろうが、わたし共からいえば「婦人の家」といいたい所である。これからも大いに親しみをもって利用したいものである。

(倉田トキ記)

分科会のテーマと係り

第一分科会　家族のあいだがらについて考えましょう
◎高野クニ　○遠藤キヨ　△市川英子　佐藤しん

第二分科会　子供のしつけについて考えましょう
◎玉手チヨ　○瀬戸絹子　△熊坂ヤイ　佐藤チカ

第三分科会　暮しの工夫について考えましょう
◎阿部貞子　○渡辺愛子　△佐藤あやを　菅野キエ

第四分科会　社会への眼を開きましょう
◎佐藤ツル　○高橋ヨシイ　△城田キヨ　古宮千代

第五分科会　はたらく生活について考えましょう
◎菊地よしえ○菊地節子　△佐久間いち　武見キミ

第六分科会　生活と政治について考えましょう
◎丸山静子　○鈴木トキ子　△奥山シマ　杉浦フク

第七分科会　私たちの集合について考えましょう
◎中村カツイ○高橋千代子　△佐藤一江

大事に育てよう文化活動の芽生え

青年学級生徒大会

研究集会とか、何々大会とかいうと、とかく指導者や幹部の独走になりやすいが、近頃の青年や婦人たちの会合を見ると、ほんとうに会員一人一人のためになるものが多くなったことは、まことによろこばしい。本月八日県北中学校で行われた町内青年学級生徒大会にしても、先日結成された生徒会連絡協議会が主となってその企画運営をされ、しかもその内容は一人一人のたましいをゆさぶり動かすものであった。特に午后の発表で行われた小坂、森江野の演劇、大木戸、大枝のコーラス、藤田の演示、いずれもクラブ活動として研究をつづけていたもの、こうしたグループによる文化活動を年間実践することによって、最も好ましい人間関係を招来し、これがやがて青年の仲間づくりを通して絶対的支持なくしては到底道完成が、今後の町発展に寄与する処が甚大であろうと関係者の努力に対し、深く感謝の意を表したい。国道舗装による商店街の美化も見逃すことの出来ない業績である。さてわれわれ商工業者は、この二大事業に対して、どれだけ反応を示したかは、誠に恥じながらその恩恵に甘んじた丈の様であった。しかし出来る限りの協力を惜しまなかったことと丈はいい得ると思う。

合併五周年の祝典もすぎた今日、何かにつけ町民の皆様に愛されるように、全商店は日夜考えているが、やはり町民各位の御協力を得なければ折角の努力も空しくなります。地域社会の行われた小坂、森江野の演劇、大木戸、大枝のコーラス、藤田の演示、いずれもクラブ活動として研究をつづけていたもの、こうしたグループによる文化活動を年間実践することによって、最も好ましい人間関係を招来し、これがやがて青年の仲間づくりを通して新しい町づくりに貢献することを考えるとき、可憐なこの芽生えがすくすくと伸びる様見守つてやりたいものである。

(庶務計　矢部安男　副会長　瀬戸栄一　会長　半沢博　斎藤好子　渡辺春子)

33年度をかえりみて

国見町商工会長　武田文治

人口一万五千足らずのわが町、町民すべてが愛し合い、協力し合って共存しなければ決して町の繁栄も、個人の幸福もあり得ない宿命を深く考え、その営みが各々違っていても、個々の生活の基礎の上に立つ町の業者を上手に御利用下さるよう重ねて消費者の皆様に御願いしたい。

来るべき新年度予算町会も開かれ、当局苦心の提案理由をよく検討せられ、月末行われる選挙によってえらばれる議会によって運営される事であろうが、年頭以来入院加療中の町長さんの一日も早く全快せられ、多難なる町政に手腕を振われる事を願つてペンをおきたい。

鞭撻して、町民の福利増進をはかるよう提言し、住みよい町づくりに惜しみなく努力を続けたいと思う。現在社会はすべて相互扶助的であり、循環的であることを よく理解していただきたいのである。

こんなに使われた青年研修所

青年研修所のあり方については、前号で説明された通り運営委員会によって研修計画を立てられてから本格的に動き出すものと思われるが、今その施設の利用という一点から、この研修所がどれだけ重宝に活用されているかということをその利用記録簿をたづつて見ることにする。

一・二二　農村青少年クラブ実績発表会(一〇〇名)
一・二八　酒井先生農事講演会(一〇〇名)
一・二九　国見連青部員会(一〇名)
二・一　国見連青合唱団結成協議会(五名)
二・一　青年学級生徒会連絡協議会(二〇名)
二・三　青年研修所運営指導会(二〇名)
二・五　国見連青体育部員会及会計監査(一四名)
二・七　国見連青家政部員会(六名)
二・一一　農業講座(三五名)
二・一六　農機具講習会(八〇名)
二・一八　全前(五〇名)
二・一九　連青家政部食生活研究会並に講演会(八〇名)
二・一九　青年学級生徒会連絡協議会結成準備会(一〇名)
二・二三　国見町将棋大会(三〇名)
二・二四　農業講座(三五名)
二・二四　連青文化部員会
二・二五　蚕業中堅青年基礎講習会(三〇名)
二・二六　生活改良推進員料理研究会(一三名)
二・二六　青年学級生徒会連絡協議会総会(二五名)
二・二八　藤田青年団料理講習(一〇名)
三・一　連青弁論大会及講演会(一五〇名)
三・一　青年学級生徒会連絡協議会(二〇名)
三・三　国見方部農協婦人部研修会(三〇名)
三・四　養雞講演会(一五〇名)
三・五　婦人学級研究集会(八五名)
三・六　農業講座(二五名)
三・六　畜産講演会(五〇名)
三・九　酪農組合総会(一〇〇名)
三・一一　土壌調査講習会(一五名)
計　二九回(一二九八名)

○生徒会連絡協議会役員
会長　瀬戸栄一　副会長　半沢博　斎藤好子
庶務計　矢部安男　渡辺春子

編集後記□□□□

有権者の良識で立派な人に投票しましょう

今年は選挙の年といわれるほどいろいろの選挙が行われますが、事前運動か否かの区別は、結局有権者である私たちが見わけて、政策も何もない売名行為か、当選せんがための買収行為をする人には投票しないようにしたいものです。こうするよりほかに、この事前運動を封じるきめ手はないとさえ思われます。

事前運動をすることによって当選する人がいればいるほど、ますます事前運動がさかんに行われます。そして事前運動の期間がますます長くなり、莫大な金が使われることになります。公定の選挙費用の外に、こうしたことに使われる資金が必要であることがよい人を出せない原因になります。議会の機能と品位を高め、町民の代表として立派な発言もし、働きをしてもらうためにも、立派な人を当選してもらうよう、私共町民は心がけたいものです。情実や個人的利害をはなれて有能な、町のためになる人を選挙したいものです。

スライド目録

話し合いにはスライドを……

(三月現在在庫)

わが家の会議、新しい村新しい町、農村の明るいすまい、婦人会のあしあと、一年のくらし、光への道、とんち教室、たちあがる青年団、明るい日々へ、日本の人口問題、新しい結婚、まだある迷信、婦人と政治、一郎物語、少年の危期、双葉の心、子供会をやるには、子供会を作るには、みんなで力を合せて、愛護班の活動、双葉をのばそう、ごれる血、農村の生活改善、生活改善の村、笑顔の山村、嫁の座、台所改善の工夫、作業衣の改良、結婚改善の道、新しい村の育児、腰の曲る話、(以下四七点省略)